

英 語

I

解答

問 1. (ア)―④ (イ)―③ (ウ)―② (エ)―③ (オ)―③

問 2. (a)―④ (b)―① (c)―① (d)―② (e)―④

問 3. (あ)―② (い)―① 問 4. ①, ④ 問 5. ②, ④

解説

《高齢化が進む日本の町、外国人住民が増加し課題に直面》

問 1. (ア) 本文の内容は高齢化が進む町に住む外国人が増えたことで生じている課題についてなので、若い外国人とお年寄りが一緒に④side by side「並んで」住んでいる、とするのが正解。

(イ) 空所前は高齢化が進んでいる現状、空所後は外国人が増えてきている現状が同時進行的に起きていることが記されている。これをつなぐにふさわしいものは③meanwhile「その間」である。

(ウ) 空所の直後に「しかし、地元の人々の間で複雑な感情が生まれてきた」と記されていることから、but の前は逆の内容である②「うまくいく」が正解。

(エ) 空所を含む文に続く文に、友達を作りたいと思っても言語や時間の問題でうまくいっていないとある。したがって、③opportunities「機会」を入れて「日本人と交流する機会がない」とするのが正解。

(オ) 空所の直前に「同じ言語を話す人が増え、快適に暮らせる」という旨のことが記されていることから、低下しているものは③「(日本語を) 学習する意欲」となる。

問 2. (a) common は「一般的な」という意味なので、④が近い。

(b) roughly は「おおよそ」という意味なので、①が近い。

(c) vacant は「空いている」という意味なので、①が近い。

(d) establish は「設置する」という意味なので、②が近い。

(e) a labor force は「労働力」という意味なので、④が近い。

問3. (あ) 波線部(A)の、外国人住民との間に生じる問題は、第6段 (The situation changed …) に記されている。同段最終文 (There were also …) に「ビーチや空き地に人々が集まり、後片付けをしないという問題もあった」と記されているので、②「ビーチで過ごした後、ゴミを残していくこと」が正解。

(い) 波線部(B)の34歳フィリピン男性については、第9・10段 (One 34-year-old Filipino … for his parents.) に記されている。第10段第3文 (Though he knows …) に「彼は地方自治体が実施している日曜日の日本語教室について知っているが、週に一度しかない休みの日に当たっており、休養したい日である」と記されていることから、①「彼は日曜日の日本語クラスに出席している」が一致しない。

問4. 地方自治体や政府から外国人住民への支援として提供されているものは第8段 (The local government …) に記されている。同段第2文 (The town set …) に相談サービスの提供を開始したこと、また、同段最終文 (The national government …) にサポートセンターが開設されたことが記されている。

問5. ①「長洲では過去20年間で65歳以上の住民の数が20倍に増加した」

第3段第1文 (Nagasu's population peaked …) に一致しない。

②「ベトナムやフィリピンから多くの人々が地元の工場で働くために長洲にやって来た」

第3段第2・3文 ((イ), the number of … by the Philippines.) に一致する。

③「長洲の外国人の中には進んで高齢者を助けたがっている人もいる」

本文にこのような記述はない。

④「外国人住民の数が増えるにつれて、地元住民の気持ちが変わった」

第5・6段 (At first, in … up after themselves.) の内容に一致する。

⑤「地方自治体の支援により、状況は劇的に改善している」

最終段第2文 (While the Japanese …) のサポート対策は遅れており、自治体に負担をかけているという内容に一致しない。

II

解答

問1. (ア)―③ (イ)―① (ウ)―① (エ)―④

問2. (a)―② (b)―② (c)―④ (d)―④ (e)―①

問3. (あ)―③ (い)―④ 問4. ①, ④, ⑥

解説

《緑のある空間で過ごす時間は、大きな健康効果をもたらす可能性がある》

問1. (ア) 空所を含む文の直前の段落で、自然の中で過ごすことは精神的にも肉体的にもよい影響を与えることが記されているので、③lower「低い」を入れて、「人々が感じているストレスの少なさが身体的な健康状態を改善できる」とする。

(イ) 空所を含む文の前にはさまざまな自然の中で過ごす効果が説明されており、such as以降で身体を動かすことで睡眠改善、免疫システムの向上といった面での恩恵もあることがわかるので、①additionalを入れて「身体的な活動には追加の効果がある」とする。

(ウ) 空所を含む文の主語であるBreathing in dirty air「汚れた空気の中で呼吸すること」は当然不健康なので、①harmfulを入れて「他の有害な変化を引き起こす」とする。

(エ) 空所を含む文の主語はItで、これはA tree's canopy of shading leave「木陰をつくるひさし」を指している。andで並列された内容はよい効果なので、④removes「取り除く」を入れて「空気中の汚染物質を取り除く」とする。

問2. (a) sipは「少しずつ飲む」という意味なので、②が近い。

(b) make a differenceは「違いを生む」という意味なので、ここでは②be effective「効果がある」が近い。

(c) in generalは「一般的に」という意味なので、④が近い。

(d) true ofは「～に当てはまる」という意味なので、④が近い。

(e) an optionは「選択」という意味なので、①が近い。

問3. (あ) 植物がもたらす効果については、第4・5段(Nature itself can … opposed to grass.)に記されている。第4段最終文(But plants, according …)に「植物は心臓や肺の問題に関連する一部の大気汚染物質を吸収することができる」と記されているので、③「植物は大気中のいくつかの汚染物質を取り除くことができる」が一致する。

(い) 入院患者に対して行われた研究については、第7段(One study

looked …) を参照する。同段第5文 (They left the …) に「彼らは平均して、1日以上早く退院した」とあるので、④が正解。

問4. ①「人々が外にいと、他人とコミュニケーションをとる機会が増え、より幸せに感じるようになる」

第3段第2・3文 (Outside, people also … generally happier.) に一致する。

②「汚れた空気の中にある植物は人間の健康によいはずがない」

第4段最終文 (But plants, …) 「植物は心臓や肺に関係する大気汚染物質を吸収する」のは健康によい影響なので、一致しない。

③「都市部では、芝生のほうが樹木よりも多くの騒音を吸収する」

第5段最終文 (As you might …) には、騒音は芝生よりも樹木のほうがよく吸収できる、とあるので一致しない。

④「緑のある空間を眺めるだけでも健康によい効果がある」

第6段最終文 (But being able …) に一致する。

⑤「郊外では、緑のある空間は都市部よりも人々の健康によりよい効果をもたらす」

本文にこのような記述はない。

⑥「Pescador Jimenez氏によると、都市部に木を植えることで人々の健康が改善する可能性がある」

第8段最終文 (When communities plant …) に一致する。

⑦「自然から何らかの恩恵を得たいのであれば、人々は山岳地帯を訪れるべきである」

自然の恩恵を受けたいときにできることは最終2段 (What can you … houseplants work, too.) に記されている。そこに山岳地帯を訪れるという記述はないので、一致しない。

⑧「バルコニーに植物を置くことによる健康効果は期待できない」

最終段第2文 (Try a flowerpot …) に木を植えたりできない場合の方策の一つとして、バルコニーや窓の敷居に鉢植えを置くことを提案しているので、一致しない。

Ⅲ

解答

- (1)—③ (2)—④ (3)—③ (4)—① (5)—③ (6)—②
(7)—④ (8)—① (9)—② (10)—②

解説

- (1) 仮主語 *it* に対する真主語になる。
- (2) 直前の人を先行詞とする関係代名詞。
- (3) 「～の代わりに」
- (4) 仮定法過去完了にする。
- (5) 「ジェニーが新しい自転車を買った店」 空所の後ろは完全な文なので、関係副詞を入れる。
- (6) *tired of* ～ 「～に疲れて」
- (7) *prevent A from doing* 「A が～するのを妨げる」
- (8) *cannot help but do* 「～せずにはいられない」
- (9) *apologize for* ～ 「～について謝る」
- (10) *Help yourself.* 「ご自由にどうぞ」

IV

解答

- (3 番目・5 番目の順に) (ア)―①・⑥ (イ)―③・⑥
(ウ)―⑥・④ (エ)―③・② (オ)―⑤・② (カ)―⑤・③
(キ)―③・⑥ (ク)―③・② (ケ)―①・⑤ (コ)―①・③

解説

(ア) (The newsletter) is posted every other Saturday on (our website.)

every other Saturday 「隔週の土曜日」

(イ) There is no use waiting for (them anymore.)

there is no use doing 「～しても無駄である」

(ウ) (I want to) help those who do not have (enough money.)

those who ～ 「～する人々」

(エ) (The exhibition was) far more interesting than I thought (it would be.)

比較級の直前に *far* を置くことで比較級の強調を表す。

(オ) (This song always) reminds him of his happy childhood(.)

remind A of B 「A に B を思い出させる」

(カ) (What) made you want to study French(?)

make A do 「A に～させる」

(キ) (I haven't) made up my mind whether to (accept the job offer

or not.)

make up *one's* mind 「決心する」

(ク) (Our teacher) told us not to speak Japanese in (her class.)

tell *A* to *do* 「*A* に～するように言う」 not の位置に注意すること。

(ケ) (When you) run out of space to write (, you can use another piece of paper.)

run out of ～ 「～が不足する」

(コ) (This new machine will) save you a lot of time (.)

save *A* *B* 「*A* に *B* を省いてやる」